

令和2年度 自己評価・学校関係者評価に係る評価結果等報告書

	評価項目	評価 4段階	自己評価結果と改善方策等	学校関係者評価結果および意見等
1	確かな学力の育成に関すること (学力向上、キャリア教育、英語教育、情報教育等)	3	電子黒板を活用した授業実践およびAI学習ドリル(すららドリル)とMEXCBTの推進に取り組んでいる。	・臨時休業はあったものの、学力向上に向けて取り組まれたことが、学習内容の修了につながったと感じます。
2	豊かな心を育てる教育の推進に関すること (道徳教育、小中一貫・連携教育、ふるさと教育、読書活動、体験活動等)	4	全学年でローテーション道徳を全教職員で行い、お互いに授業づくりに取り組み、研修を深めた。	・情報教育では、オンラインで外部とつなぎ、授業を効果的に進められていると思いました。 ・共同募金活動ありがとうございました。
3	生徒指導の充実に関すること (いじめ、不登校対策等)	4	SSWやSCとの関係を図り、教育相談活動を充実させるとともに、様々な場面において、生徒を賞賛することで、自尊感情と規範意識を向上させることができた。	・先生に相談できるようになると、いじめのない学級づくりもスムーズにいくように思います。コミュニケーションがとれる環境づくりに取り組んでいってください。
4	運動に親しむ習慣づくりと体力の向上に関すること (体力・運動能力の育成)	3	保健体育の授業において、準備運動やストレッチ、筋力トレーニングを毎時間取り入れ、向上に努めた。	・3Aの取組は、生徒自身が自覚をして取り組んでいると思います。「あいさつができる」100%というのはとても素晴らしいことだと思います。庵治中の伝統が、しっかりと引き継がれていると思いました。中学生のあいさつはピカイチです。
5	食育の推進と心身の健康づくりに関すること	4	コロナの影響があり、調理実習などは行えなかったが、「マイランチ」「栄養職員による授業」により、食育の推進を図った。	・「体育レクリエーション」では、学年を縦割りにして行うことで、今までとはちがった成果が見られ、今後の取組の参考になると思いました。
6	学校人権教育の推進に関すること	4	現地学習はできなかったが、大島青松園とのつながりを大切にし、出前授業やICTを活用したオンライン講演を行うことができ、人権学習を深めることができた。	・学年によってテーマを決め、「人権集会」の場で発表したり、日々の生活の中で人権教育を学んだりすることが、生徒の人権意識に繋がっていると感じます。
7	特別支援教育の推進に関すること	4	特別支援学級生徒の情報交換を密にとり、全教職員が共通理解のもと支援にあたれている。	・今年度は感染症の為、大島を訪問してのハンセン病学習ができなかったが、例年とは違う方法で工夫して取り組まれていて、今年度も変わりなく生徒たちの大きな学びになっていると思いました。
8	教員の資質向上と教育指導体制の充実に関すること (職員のコンプライアンス・現職教育等)	4	校長主催の「庵治塾」(校内研修)を状況に応じて適宜開催するとともにOJTにより若年教員のスキルアップを図った。	・保護者に学校に来ていただく取組を粘り強く続けていただきたいと思います。訪問する機会がもてなく残念でした。
9	安心・安全で質の高い教育環境の整備に関すること	3	施設修繕を積極的に行った。火災・地震(津波)・不審者を想定した避難訓練を実施することで、危機管理意識を高めた。	・研修で得たことを学校で活かし、生徒と向き合っていけるよう取り組んでもらいたい。
10	家庭や地域との連携・協働に関すること (高松型コミュニティ・スクール等)	4	コロナ禍の状況で中止せざるを得ない活動等もあったが、校内清掃活動やPTA運営委員会を行い、その中での連携・協働を行うことができた。	・コロナ禍で、家庭や地域との連携は難しいですが、対策を万全にし、「音楽集会」を開催する等、生徒の姿を保護者に感じてもらえる場ができ、良かったと思います。
11	夏季休業日の短縮に関すること ・学力の定着(補充的な学習の充実) ・教師と子どもが向き合う時間の確保 ・ゆとりある教育課程の展開(ゆとりある学習進度等)			・「音楽集会」に参加させて頂き、元気と感動を味わいました。とても素晴らしい集会でした。コロナ禍中、子どもたち、先生方、大変だと思いますが、お体に気をつけ頑張ってください。
12	働き方改革・業務改善に関すること (時間外勤務の削減等)	3	高松市部活動ガイドラインの実施により、生徒・教職員とも時間のゆとりが生まれた。	・先生方にも「ゆとりある教育」を実践していただくことが、生徒の評価で肯定的な回答をする割合を高めるのではないかと思います。